

情報公開文書
第1.0版 2025年7月1日 作成

京都大学医学部附属病院・京都大学大学院医学研究科では、病気の診断や治療の向上を目指して、実際に診療を受けられた方の臨床情報を元に種々の研究を行っています。以下にその概要を記しますので、ご理解の程お願いいたします。

- (1) 研究の名称: 血管内治療デバイス留置後・動脈瘤クリッピング後患者における Ultrashort TE MRA (UTE-MRA) の研究
- (2) 倫理審査と許可: 本研究は京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。
- (3) 研究機関の名称、研究責任者の氏名: 京都大学大学院医学研究科 放射線医学講座 (画像診断学・核医学)、中本裕士
- (4) 研究の目的・意義: この研究は、脳動脈瘤の治療後に体内に留置される金属 (クリップやステントなど) のまわりの血管を、MRIでより正確に、安全に見るための新しい方法 (UTE-MRA) の有用性を調べるものです。従来のMRIでは、金属の影響で画像が乱れることがありましたが、UTE-MRAという新しい撮影法を使うことで、血管の状態をより鮮明に、造影剤を使わずに確認できる可能性があります。体への負担が少なく、長期的な経過観察にも役立つと期待されています。
- (5) 研究実施期間: 研究機関の長の実施許可日から2030年6月30日まで
- (6) 対象となる試料・情報の取得期間: 京都大学医学部附属病院放射線部において、2024年10月1日から2025年7月1日までにUTE-MRAとTOF-MRAを含めた脳MRI撮影を行われた脳動脈瘤治療後の患者さん。
- (7) 試料・情報の利用目的・利用方法
MRI画像を抽出・ID化 (個人情報 を消去) して画像処理を行います。他の機関への提供は行いません。
- (8) 利用または提供する試料・情報の項目

MRI画像および撮像条件

性別、年齢、体重、家族歴、採血データ、過去の治療歴

(9) 利用または提供を開始する予定日

京都大学医学部附属病院長の実施許可日以降に利用開始させていただきます。

(10) 当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称および研究責任者の職名・氏名

本研究は京都大学医学研究科において実施します。自機関のみ実施する研究であり、共同研究機関はありません。

(11) 試料・情報の管理について責任を有する者の所属・職位・氏名

京都大学大学院医学研究科 高度医用画像学講座 特定助教 奥知左智

(12) 研究対象とならないことを希望する際にはご自身もしくは代理人の方が当科に連絡をすれば、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止します。

(13) 他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内において、研究計画書および研究の方法に関する資料の入手・閲覧が可能です。
(15)の窓口にお問い合わせください。

(14) 研究資金・利益相反:この研究は、運営費交付金により実施します。特定の企業からの資金提供は受けていません。利益相反については、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査されています。

(15) 研究対象者からの相談への対応・窓口:

1) 研究課題ごとの相談窓口

〒606-8507

京都市左京区聖護院川原町54

京都大学医学部附属病院 放射線診断科窓口(担当:奥知左智)

電話:075-751-3760

E-mail:diag_rad@kuhp.kyoto-u.ac.jp

2) 京都大学の相談等窓口

京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口

電話: 075-751-4748

E-mail: ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp